

- | | | |
|-------|-------|------|
| 末野包槌 | 豐田吉次郎 | 林清馬 |
| 齋郷品之介 | 河内山政一 | 香川貞市 |
| 大谷熊之進 | 妹尾雄一郎 | 新庄勝清 |
| 松原乙作 | 伊達哲郎 | 岡村儀人 |
| 福井勇太 | 吉川家善 | 吉岡好助 |
| 瀨政竹雄 | 三浦高一 | 白坂正吉 |
| 藤村柳吉 | 松林保太郎 | 眞弘治人 |

(順序不同)

(アイオー生)

岡山醫學會彙報

岡山醫學會通常會

同會は豫期の如く本月二十二日午後三時より岡山醫學專門學校に於て開會す舟岡副會長開會を述べ真ちに左の演説に移る

第一席 脚氣新劑「ベリスチン」ノ實驗報告

白坂正吉君

演者は本品の脚氣に對する効果を述べその試用すべき價值あるものなることを推賞せり。(自抄)

第二席 「ネオピチロール」ニ就テ

醫學博士 筒井八百珠君

醫學士 大森大亮君

演者は京都大學松浦博士が「ピチロール」を精製して其臭氣を去り新たに「ネオピチロール」と命名して公にせられたる一新皮膚病藥を紹介し且之が使用法及び其實驗例に就て述べ其成績の良好にして濕疹には殊に推獎すべきを藥劑なることを説述せり委細は追て他日更に報告す

る處あるべし。(自抄)

第三席 「プロエクトスコープ」ノ供覽

村松篤治君

本機に就て其大略を説明し岡山縣病院X光線室に於て

實物を供覽せられたり。

右終りて閉會したるは午後四時半なり。

●正誤

本誌第三百五十號(本年三月)掲載ノ三藤香吉君ノ論文

初行

臨牀醫學大正八年三月號ハ大正八年四月號ノ誤リ

原著紹介

(雜誌順序不同)

●治療新報(第二七二號)

小兒腦膜炎ノ原因及療法(二) (太田孝之、永井一夫、清瀧丑之助、坂内益藏)

實際料理法(承前) (富士川游)

●治療新報(第二七三號)

小兒腦膜炎ノ原因及療法(承前) (太田孝之、永井一夫、清瀧丑之助、坂内益藏)

實際料理法(承前) (富士川游)

●日本學校衛生(第七卷第四號)

兒童正常姿勢測定器ニ就テ (櫻井恒次郎)

學校醫諸君ト語ラン (三島通良)

學校衛生時言 (竹内薫兵)

身體檢査ノ改良及檢査成績ノ利用附、修學旅行ト體重トノ關係 (寄藤好實)

學校衛生トシテノ結核問題 (藤井惠)

●國家醫學雜誌(第三八七號)

性ノ問題ヲ論ジ生殖器ノ内分泌ニ及ブ (高橋信美)

臍位ニ就テ (庭瀬信太郎)

飛行者墜落ノ醫學的研究 (淺田一)

白血球ノ蛋白酵素 (三田定則)

●日本鐵道醫協會雜誌(第五卷第四號)

外傷患者(鐵道院公務員傷者)二千名ニ關スル諸種ノ統計的觀察(承前)

(原田忠男)